

Ⅱ 令和6年度の美術館の運営計画及び状況

(1) 企画展示

当館企画 4企画 延べ開催日数135日計画

| | |
|---------------------------------|---|
| 「脇田和と佐藤忠良」 | 4月24日～5月26日（33日間） |
| 「能登が育んだ作家たち」 | 6月1日～6月23日（23日間） |
| 「まるごと奈良博－奈良国立博物館至高の仏教美術コレクション－」 | 前期 7月6日～7月28日（23日間） 後期 7月31日～8月25日（26日間） |
| 「食を彩る工芸」 | 11月9日～12月8日（30日間） |

貸館企画 18企画 延べ開催日数139日予定

(2) コレクション展示

| | | |
|--------------------------------------|-------|-------------------|
| 前田育徳会尊経閣文庫分館 | 10テーマ | 309日間 |
| コレクション展示室 | 24テーマ | 309日間 |
| 特別陳列 「加賀藩前田家の名刀－天下五剣の名宝「大典太光世」が石川に－」 | | 3月26日～5月26日（57日間） |
| 特別陳列 「石川風土記－故郷の美－」 | | 10月5日～11月4日（31日間） |
| 特別陳列 「彩塑人形・紺谷カ－躍動する生命」 | | 2月8日～3月20日（41日間） |

(3) VRシアター

全国初となる8Kの高精細画像やVR（仮想現実）など最先端の映像技術を活用したシアターを上映。令和5年7月29日開始以降これまで、約10,000名が視聴。

6月23日まで、A・B・Cを1日3回上映

7月6日からは、A・B・Cを1日5回上映

A 「美を紡ぐ、そして文化を育む - 加賀前田家から現在へ、そして未来へ -」

B 「色絵雉香炉-悠久の時を超えて-」

C 「前田家が伝えた万葉集-心揺さぶるいにしへの想い-」

(4) デジタルミュージアムの設置

- 「美術とあそぶ」 4Kの大型パネルの前で、美術作品を動かしたり、銅鑼を鳴らすことができる。
- 「美術をまなぶ」 収蔵作品をについて、4K映像で解説を聞きながら鑑賞するとともに、人間国宝のインタビュー等を視聴できる。

(5) 普及事業

- ① 講演会 企画展・特別陳列にあわせて4回予定
- ② 土曜講座 学芸員がそれぞれの研究テーマで18回予定
- ③ ギャラリートーク 企画展等で展示室においての列品開設
- ④ イベント 展覧会に関連したワークショップ等0才からのファミリー鑑賞会や一般向けの制作体験など予定
- ⑤ キッズ☆プログラム 小学生の親子を対象とした鑑賞・体験講座 1回予定
その他当館企画展やコレクション展の特集展示では観賞用ワークシートを配布
- ⑥ 学校出前講座 所蔵作品による学校での鑑賞授業 5校予定
- ⑦ 教職員プログラム 県内小中高、特別支援学校の教職員を対象とした鑑賞及び美術館活用講座 8月に実施
→併せて、8月上旬の1週間を教職員ウィークとしてコレクション展に無料招待
- ⑧ 映像ギャラリー 美術映画・ビデオ・DVD上映 3月に映画会予定
- ⑨ 音声ガイド 日・英・中・韓の四カ国語で281解説 無料貸出
各人のスマートフォンでの利用も開始 (6月1日より)
- ⑩ 文化財現地見学 企画展内容に合わせた一泊二日のツアー 10月に実施
(軽井沢方面)
- ⑪ デジタルミュージアム ウェブサイトの公開とSNS活用
- ⑫ 情報図書コーナー 開架図書の閲覧とレファレンス
- ⑬ 美術館だより発行 展覧会など美術館情報を掲載し毎月1日発行
- ⑭ 美術館友の会運営 展覧会鑑賞の便宜を図る 年会費2,000円 現在会員数727名

(6) 石川県文化財修復工場の文化財の修復計画

- ・重要文化財及び美術館博物館・公共団体所蔵作品
118件（197点）※見込